

あいのわ

■発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会
理事長 橋本 弘

■連絡先
〒121-0012 東京都足立区青井4丁目30番5号
TEL:03-3849-1188 FAX: 03-3849-7001
URL <http://www.ainowa.or.jp/>

■印刷・作成
足立区大谷田就労支援センター

足立あかしあ園 綾瀬あかしあ園 舎人あかしあ園 神明障がい福祉施設 足立区大谷田障がい福祉施設 竹の塚あかしあの杜 あいのわ支援センター あいのわ相談センター

祝入所式



綾瀬あかしあ園



神明障がい福祉施設



足立あかしあ園



舎人あかしあ園

理事長就任に当たって

このたび勇退されました鈴島前理事長に代わりまして、第4代の理事長に選任されました橋本です。鈴島前理事長は、平成6年の法人設立以来、副理事長そして理事長として長きに亘ってあいのわ福祉会の舵取りをされ、法人は区内10か所23事業を運営するまでにいたしました。本当にありがとうございました。

私は39年間足立区役所に勤務しておりましたが、そのうち15年は福祉行政に携っておりました。最後の3年間は福祉部長の職にありましたが、あいのわ福祉会は重度障がい者支援サービスを提供する頼もしい法人であるとの認識を持っておりました。昨年9月に入職させていただきましたが、その認識は間違っていないと思っております。

足立区は23区の中では最も多い福祉需要がある区ですが、支援が必要な方は複数の様々な問題を抱えておられる場合があります。地域包括ケアの考え方は高齢者のみならず、障がい者をはじめ社会の中で支援を必要とするすべての人に広げていく必要があります。障がいを持つ方々やご家族の思いを受け止め、そのニーズから出発して地域生活を支えていくことが法人の責務であると考えています。そのため、職員と問題意識を共有し、一丸となって最高の利用者サービスを提供していきたいと思っております。

社会の弱者を暖かい視線で見つめられてこられた鈴島前理事長の意思を継承し、運営を進めてまいりますので、皆様におかれましては、これまでと変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年度第5回 理事会 評議員会 議案書

日 時 平成30年3月13日（火）午前10時から

第1号議案 平成30年度事業計画（案）及び予算（案）について

第2号議案 諸規定の改正について

（役員報酬規程・管理運営規則
・衛生管理規則・経理規程・非常勤職員賃金規程）

第3号議案 第9期苦情解決第3者委員の選任について

第4号議案 相談役の選任について

平成29年度 第1回臨時評議員会 議案書

第1号議案 役員報酬規程の改正について

報告事項 生活介護施設の新規開設計画について

平成30年度苦情解決第3者委員のご紹介

・藤巻暎一さん
・比留間ちづ子さん
・萩原邦男さん（新任）
以上の3名になります。
本年度もよろしくお願いいたします。



足立あかしあ園

足立あかしあ園では、平成30年4月3日に入所式が執り行われました。本年度は1名の方が新たにご入所されました。スーツに身を包み、笑顔でご入場されると会場からは温かい拍手が沸き起こりました。理事長をはじめ、父母の会会長、学生時代の先生からお祝いの言葉をいただき、誇らしげな表情を浮かべられていました。

新しい方をお迎えし、60名となった足立あかしあ園を本年度もどうぞよろしくお願いいたします。（塩賀）



舎人あかしあ園

桜も咲き、初夏のような4月5日に舎人あかしあ園では城北特別支援学校から2名、他施設から1名、合計3名の新しいメンバーを迎えました。来賓の方々にもお忙しい中でお席いただき、あたたかいお祝いの言葉をいただきました。笑いあり、涙ありの明るい晴れやかなスタートとなりました。

30年度の舎人あかしあ園はAグループ10名、Bグループ15名、Cグループ12名の37名でスタートします。各グループどんなことをしようか、これをしていこうか、新しいことを試してみようと皆で取り組むことを決めながら準備しています。本年度も明るく賑やかに取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。（関根）

入 所 式



綾瀬あかしあ園

4月4日に入所式を行い、本年度は4名の新規入所者の方を迎えました。

新規入所者の方も、入場の際や、ご本人紹介の時などは若干緊張の面持ちでしたが、所属していた学校、施設の先生や職員の方から祝辞をいただき、利用者代表の方から歓迎の言葉を聞くと、少し緊張も和らいだのか、笑顔が見られる場面などもありました。

人数も増え、更に賑やかになりました。本年度も綾瀬あかしあ園をよろしくお願いいたします。（中村）



神明障がい福祉施設

暖かい日差しがあった4月9日、神明障がい福祉施設に2名の方をお迎えしました。入所式では、新たに就任された橋本理事長からの祝辞をお2人とも真摯な表情で聞いている印象を受けました。お2人は福祉園に入られ、新しい環境に慣れるべく、仲間や職員と共に所属グループの活動に参加されています。新たに加わった方を含め43名となったご利用者の皆様と共に本年度、これまで以上に躍進していきたいと考えておりますので、ご支援・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。（熊田）

新規採用職員紹介



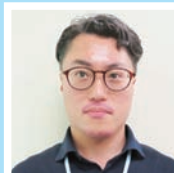
阿部 由香（足立あかしあ園）
わからないこと、不安なことがあり緊張していますが、1つひとつ成長していければと思います。利用者みなさんの想いに寄り添える支援員になれるよう努力していきます。



荒井 悠太（舎人あかしあ園）
少しでも早く仕事を覚えて皆さんの役に立てられるようにになりたいです。見かけたらどんどんして欲しいことをいってください。どんどん対応できるように頑張ります。



太田 美加（竹の塚あかしあ園）
足立区大谷田就労支援センターで1年半、非常勤として働いていました。新年度から新しい場所で、新しい気持ちで、利用者さんとの交流を深めながら、より良い支援を心掛けて取り組みたいと思います。



橋本 佑紀（神明福祉園）
福祉の仕事は初めてですが、現場での知識・技術を取得していきたいです。まずは業務を覚え、利用者の方々と積極的に関わっていこうと思っています。これから宜しくお願い致します。



桜井 理恵（竹の塚あかしあ園）
私の抱負は、一つ一つの仕事を覚え、先輩方が教えて下さった事を活かし、利用者とは良好な関係を持つ職員になることです。そのために、経験を積み重ねて努力していきたいと思っています。



市川 美幸（神明福祉作業所）
何も分からずにまだまだ戸惑ってばかりの自分ですが、配属先の作業所では利用者の方々が一生懸命に楽しそうに作業されているのを身近に感じ、楽しく過ごさせて頂いています。利用者の方々の気持ちに寄り添える、笑顔の絶えない職員を目指して頑張りたいと思います。



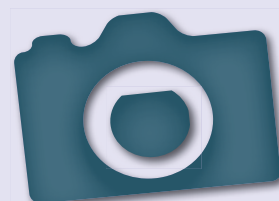
山本 美幸（あいのわ支援センター）
分からないことだらけで足を引っ張ってしまう事も多々あると思いますが、教えて頂いたことを沢山吸収し一人前の支援員になれるよう日々努力をしていきます



小川 絵里（足立区大谷田就労支援センター）
以前は竹の塚あかしあ園で非常勤支援員をしていました。趣味は食べる事、歌うこと♪家では2児の母です。宜しくお願いがいたします。



鎌田 望（神明福祉作業所 あいのわしごとセンター）
たくさんの事を学び、利用者の皆様が充実した毎日を過ごせるように努めたいです。また、大相撲の「横綱」のように、何事にも一生懸命に取り組み、自分自身を成長させていきたいです



舎人あかしあ園及び大谷田障がい福祉施設・さくら祭り

舎人公園千本桜祭り報告

4月8日（日）、東京都立舎人公園にて開催されました、舎人公園千本桜祭りに、法人として自主生産品の出店、販売を行いました。当日は天気もよく、多くの方があいのわの店に立ち寄って下さいました。売り上げは総額3万円を超え、藍染めTシャツやむぎゅぽんが多く売れました。たくさんの方のご来店、ありがとうございました。（北出）

足立区大谷田障がい福祉施設 さくら祭り報告

4月1日（日）桜が満開の中、地域自治会と共催で「大谷田さくら祭り」を開催しました。当日は天気も気候も良く、大勢の地域の方や施設関係者が来場してくれました。から揚げやポテト、焼き鳥などの模擬店販売や、「足立東高等学校」や「中川東小学校」の生徒さんによる、和太鼓演奏やプラスバンド、ダンスサークル「スマイルメイツ」さんによるダンスも催され、盛大に開催されました。大谷田地区は地域自治会の協力が非常に盛んです。この取り組みを長く続けられるよう、施設としても地域への恩返しを考えなくてはならないと、気持ちも新たになったお祭りでした。（市原記）



投稿欄（俳句・川柳など募集中です）

妻偲ぶ 千鳥ヶ淵の 花朧 秋山 啓司

▼この一句

「花の雲 鐘は上野か 浅草か」 松尾 芭蕉

当時、芭蕉庵は隅田川に程近い深川にあり隅田川の兩岸と上野の山は、今も変わらぬ桜の名所でありました。寛永寺の鐘楼は上野の山の西端、不忍池をのぞむ高台に現在も建っている。
浅草の時の鐘は浅草寺弁天山にあり、今でも朝六時に撞かれ時刻を知らせています。
また、大晦日には除夜の鐘としてその荘厳な音を響かせている。
（秋山）

後援会だより

平成30年1月〜平成30年3月 敬称略・順不同

【一般会員・団体会員】（1口3千円〜5千円）

工藤智子、西村文雄

【寄付者】

肢体不自由児者父母の会

東京綾瀬ライオンズクラブ、濱野幸彦

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。

申し込み・お問合せは後援会事務局

電話（3849）1188まで

編集後記

本年度最初の広報誌をお届けします。

新たな年度がスタートし、各施設の事業も本格稼働してきます。各施設からのトピックスを順次ご紹介し、法人事業の内容を皆様にお知らせできたらと思っております。本年度も1年間「あいのわ」をご愛読いただきますよう、お願いいたします。

（市原記）

平成30年度法人全体会報告

4月2日、足立あかしあ園にて、平成30年度社会福祉法人あいのわ福祉会職員全体会が執り行われました。前理事長によるご挨拶、理事長による所信表明、理事による所信表明、各施設から事業計画の発表等を行いました。新規職員として9名の方が入られ、永年勤続表彰では12名の方が表彰されました。年に1度、多くの法人内職員が一堂に会する中、これまで携わってきた関係者や職員の方々の熱い思いや、積みあげてきた実績を踏まえて、今後も引き続き利用者の方々から高い満足を得たいと、地域に必要とされる法人・施設であり続けられるよう、求められる役割を果たしていきたいと考えております。



本年度の事業展開においてポイントとなる内容としては、中堅層の職員の方々の育成のための研修を継続して実施していくことと、新たな取り組みとして各事業所の非常勤の方々の研修の構築を目指してまいります。

また、社会福祉法人制度の改革が行われて、昨年度は様々な内部統制に取り組みでまいりました。引き続き法人の安定運営のための取り組みを行っていただきます。具体的には法人全体として、地区割り後のサービス内容の検証や改善職員の方々の育成の仕組みづくり、地域生活支援の向上のためのノウハウの共有、様々な作業ニーズがある中での実態的な作業の確保、相談支援の向上等の現状の課題も踏まえていくことも重要になります。法人職員の一人ひとりが自らの役割の元より丁寧な対応をしていくことで、利用者の方のニーズの実現ができるよう取り組んでまいります。

本年度も関係各所の皆様方のご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（酒井）

富山型デイサービス視察報告

平成30年度の報酬改定に向けて「共生型サービス」が検討されており、本年度より施行されました。あいのわ福祉会としても、利用者の方の高齢化が進む中、年齢を積み重ねても住み慣れた場所で安心して生活ができるように、支援体制の準備を進めているところです。その一環として、「共生型」のモデル事業となり全国的に注目されている「富山型デイサービス」を視察しました。

平成30年1月、例年になく豪雪の富山県でしたが、6名のメンバーで富山市、小矢部市の富山型デイサービス3箇所を3箇所、見学させていただきました。3箇所とも介護保険法を適用したデイサービスで、障がい児者のサービスは基準該当の形を取っていました。特に富山型デイサービスの始まりは、「家で最期を迎えたい」という高齢者の希望を叶えるために3名の看護師の方が立ち上げ、子供も高齢者も障がいのある人も、誰でも必要な時に必要なだけ利用でき、「施設」というよりも「大きな家」という環境の中で和やかな空気に包まれた、昔の大家族のような環境を目指している、ということでした。見学時も高齢の方、障がいの方、お子さん、赤ちゃんといろいろな方が過ごしていました。デイサービス、就労継続支援B型、短期入所、グループホーム等、多様なサービス展開されています。

「富山型デイサービス」は子ども・障がい・高齢などといった対象別の縦割り制度から始まったものではなく、地域に暮らすひとりひとりのニーズを実現させながら次々と必要な事業が展開され、発展してきました。行政は「65歳の壁」に対して「共生型」を考えているが、それぞれがそれぞれの理念に基づいて行えばよいのではないか、その選択肢のひとつとして見てほしい、という話が印象的でした。

地域性の違いや課題はありますが、「共生型」の考え方は、年齢を重ねても「ありのままのあなたと向き合い」「住みよい環境作りを行っていく」という、あいのわ福祉会の理念に沿ったものであること認識できました。

今後は、この「共生型」の考え方を踏まえて、あいのわ福祉会として具体的な検討を行っていきたいと考えます。

（大手）

